平成２９年度『都庁柏会』の報告

平成２年卒　　安部 毅

皆さんこんにちは。東京都庁に勤務している安部と申します。

平成２年に卒業、入都（にゅうと；都庁に採用することを我々はこう呼んでます）し、現在、都市整備局都市づくり政策部で、多摩地域と小笠原のまちづくりを担当しています。

私のプロフィールはさておき、今回は、都庁内の本学同窓生の集いについて簡単に紹介させていただきたいと思います。

まず、『都庁柏会（都武蔵工業大学・東京都市大学同窓会）』です。

正規職員だけでなく再任用や非常勤職員、都議会議員など、現在、都庁内で働いているメンバーで構成しています。

会員数は、東京都議会第４７代議長（※現議長です）である川井議長を筆頭に１６０名に及ぶ規模になります。基本的に口コミ情報で集まっているので、実際の数はもっと多いはずです。

学科の内訳は、土木（都市工）１３０名、機械１０名、電気電子１０名、建築９名、通信１名となっています。特にここ数年、校名が変わった時期からの若手職員が多く、今年は９名（全員、都市工学科）もの入都がありました。

以前、都庁内での本学同窓会は知事本局と公営企業で分かれたり、局単位で行っていた時代もありましたが、１０年ほど前から都庁全体で行うようになりました。

今年は５月１７日に新宿三井ビル季膳房にて『都庁柏会』を開催し、大学の恩師である皆川先生と丸山先生にもご出席いただき、総勢４０数名の参加がありました。

先生方から、学生への就職支援活動について労いの言葉をいただく場面もありました。

銘々の自己紹介では、新採職員のフレッシュさ、中堅職員のたくましさ、ベテラン職員の安定感と後輩に対する温かい（熱い？）メッセージなどが印象的でした。

会の最後、この４月にオリンピック・パラリンピック準備局技監（東京２０２０大会の技術職のトップです）に就任した相場技監から、同窓の繋がりもひとつのきっかけとして、それぞれの立場でしっかり東京の都市づくりを進めていこう、との激励の言葉とともに閉会となりました。

（平成２９年度『都庁柏会』の集合写真）

　また、『都庁柏会』とは別に、管理職で構成される『武工会（都区武蔵工業大学同窓会管理職部会）』があります。これは、都庁のほか区市町村や東京消防庁の職員も加わるほか、現役だけでなくＯＢも会員となっています。

　これも基本口コミでの集まりなので実際はまだ対象者がいるかと思いますが、現在把握している会員数は約１００名に及びます。

　これからも、より良き東京の行政の推進に向け、本学同窓の絆を深めていきたいと思います。